

区 分	担当課	評価	評価の説明
<b>1 函館競輪の魅力向上</b>			
<b>① 競輪事業および自転車競技への理解の促進</b>			
<p>競輪事業について市民の理解を促進するため、広報活動を充実するとともに、関係団体が主催する競技大会やサイクリング大会への支援などにより自転車の魅力を市民に伝えます。</p>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“はこだてカルチャーナイト”に参加し、現役選手からの施設紹介や自転車の組立実演、ローラーを利用した練習体験などを実施し、市民が身近に自転車競技や競輪場に触れる機会を提供することができた。</li> <li>・市内の小学生や各種団体などの施設見学の受け入れや出前講座などにより競輪事業がこれまで果たしてきた市財政への貢献について市民にPRすることができた。</li> <li>・北海道自転車競技選手権大会や国体自転車競技北海道ブロック予選会などにより自転車競技者が全道各地から集まり、また、大会運営に選手会も関わり、自転車競技の普及に努めた。</li> </ul>
<b>② ファンサービスの充実と新たなファンの開拓</b>			
<p>売上増を図るため、ファンのニーズに対応した施策を展開するとともに、地元選手会や選手会OB会と協働し、競輪事業の活性化を図ります。</p>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営函館競輪や臨時場外開催時の来場者やスターライト読者、サテライト来場者などにアンケート調査を実施し、意見・要望等に対応したファンサービスの提供ができた。</li> <li>・インターネット上でレース実況の配信をしたほか、市営函館開催のレース展開予想など、ファンニーズに対応した情報提供を実施した。</li> <li>・地元選手会・選手会OB会や実況アナウンサーによるレース展望の開催によりファンとの一体感を高めることができた。</li> <li>・包括受託者と協力し、車券の購入や競輪場内での利用券に交換できるポイントサービスなどのファンサービスを実施した。</li> <li>・eスマート倶楽部の拡大が図られた。</li> </ul>
<p>若年者や初心者のための講座開設や北海道新幹線開業に向け青森県・函館DCなどと連携し観光客の誘致により、新たなファンの開拓に努めます。</p>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競輪場内を活用し、実況アナウンサーによる初心者教室の開催やナイター観戦イベント開催時に地元現役選手によるレース展望会の実施により新たなファンの開拓に努めた。</li> <li>・りんりんのSNSページにおいて競輪場内で開催されるイベント告知を行い、近隣住民等の来場を促し、イベントを契機として来場されるお客様へのPRを行った。</li> <li>・包括受託事業者が旅行会社と提携し、函館競輪観戦ツアーの旅行商品開発を行った。</li> </ul>
<p>近年既存のファン層だけでなく、若年者や女性を中心とした新たな層からも注目されている「ガールズケイリン」の開催数を今後も確保できるよう関係機関に働きかけるとともに、未来のガールズケイリン選手の発掘、育成サポートを行う「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト」を実施し、自転車競技の普及・発展を目指します。</p>	事業課	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への働きかけ等「ガールズケイリン」開催数確保に向けた各種活動を展開。平成28年度は計3回開催し、集客増加に貢献した。</li> <li>・ガールズケイリン選手の発掘・育成等を目的とした「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト」を実施。平成28年度は日本競輪学校第114回試験で、第1期生から2名もの合格者を輩出、選手層の底上げに貢献した。</li> </ul>
<p>函館競輪場やそこで行われるイベント等を知っていただくためのツールとしてWebやSNS媒体をこれまで以上に活用し、多くのお客様に函館競輪場の魅力を伝えることで来場者の増加や新規ファンの確保に努めます。</p>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでのレース情報の提供や、メールマガジンの配信等、さらにレース映像のHD化等、情報提供体制の整備が図られた。</li> </ul>

区 分	担当課	評価	評価の説明
<p><b>③ 自場発売の拡大や集客性のある特別競輪の開催</b></p> <p>ファンサービスの拡大や新たなファンの開拓などにより自場発売の拡大に努めるとともに、集客性の高い特別競輪の開催などにより競輪の魅力向上を図ります。</p>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛企業との連携により充実したファンサービスの提供や包括受託者が実施するeスマートカードでの車券購入へのポイントサービスなどにより、ファンサービスの拡充が図られた。</li> <li>・平成28年7月のGⅢレース「函館競輪開設66周年記念競輪」では、函館競輪場に4日間で計7,218名もの入場者を動員、開催を成功させることが出来た。</li> <li>・特別競輪の開催実現へ向け、関係機関に対して積極的に誘致活動を展開した。結果としては、残念ながら平成30年度誘致には至らなかったが、平成29年度については、一層積極的な誘致活動を展開し、平成31年度開催実現に向け、努力していく。</li> <li>・協賛企業との連携により充実したファンサービスを提供するとともに、包括受託者が実施するeスマートカードでの車券購入へのポイントサービスなどを実施することで、ファンサービスの拡充が図られた。</li> <li>・平成28年度は、特別競輪の開催がなかったものの、函館競輪では3年目となる「ガールズケイリン」を開催したことなどにより、集客の増加ならびに当初予算を大幅に上回る売上を達成出来る見込みとなった。</li> </ul>
<p><b>④ 他の競輪場等との連携促進</b></p> <p>電話投票会員や臨時場外向けのファンサービスの拡大をするとともに、全国のサテライトへ発売の協力を依頼し、場外車券売場の拡大を図ります。</p> <p>函館競輪場では冬期間に競輪の開催ができないことから、冬期間の他場借上開催について検討します。</p>	事業課	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FⅠ・FⅡ売上の多くを占める電話投票売上の一層の拡大を図るため、函館けいりん専門情報誌「スターライト」の誌面の充実や電話投票会員向けキャンペーンなどを拡充し、売上確保に努めた。</li> <li>・サテライト場への発売協力の依頼を強化し、場外車券売場の開設日数の拡大が図られた。また、市営函館競輪を発売しているサテライトにおいて行っている抽選会等の感謝キャンペーンを拡充した。</li> </ul>
<p><b>2 競輪事業の経営改善</b></p>			
<p><b>① 関係機関との連携による各種制度の改善</b></p> <p>長年の要望活動などが実り、平成24年度から競輪制度自体を見直し、長期的に競輪事業を継続できるよう、JKA交付金の負担軽減など自転車競技法が改正されたほか、競輪選手数やレース数の削減などによる選手賞金の削減などの改革が進められたが、これらの効果を検証しつつ、今後とも関係機関と連携し、各種制度の改善要望活動を実施します。</p>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日数や賞金、JKA競技審判等委託料の削減により、施行者の負担が軽減された。</li> </ul>
<p><b>② 包括民間委託の継続による収支の改善</b></p> <p>平成20年度から実施してきた競輪開催業務等の包括民間委託について、平成28年度から新たに市自転車競走事業会計における単年度収益2億円が保証されることとなりました。平成25年度以降、毎年度単年度黒字を計上し累積赤字の解消に努めてまいりましたが、平成28年度においても早期の累積赤字解消を目指して一層収支の改善に努めます。</p>	事業課	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は当初予算を上回る売上を達成出来る見込みとなったほか、包括民間委託の収益保証等によって、単年度で2億円もの黒字を計上出来る見込みとなり、平成29年度には累積赤字が解消される見込みとなった。</li> </ul>